

価格メカニズムと市場の役割

1. 部分均衡分析の基礎

1. 需要曲線, 供給曲線の傾き, シフト
2. 価格弾力性

2. 部分均衡分析の応用

1. 価格規制, 数量規制の効果
2. 租税・補助金
3. 国際貿易

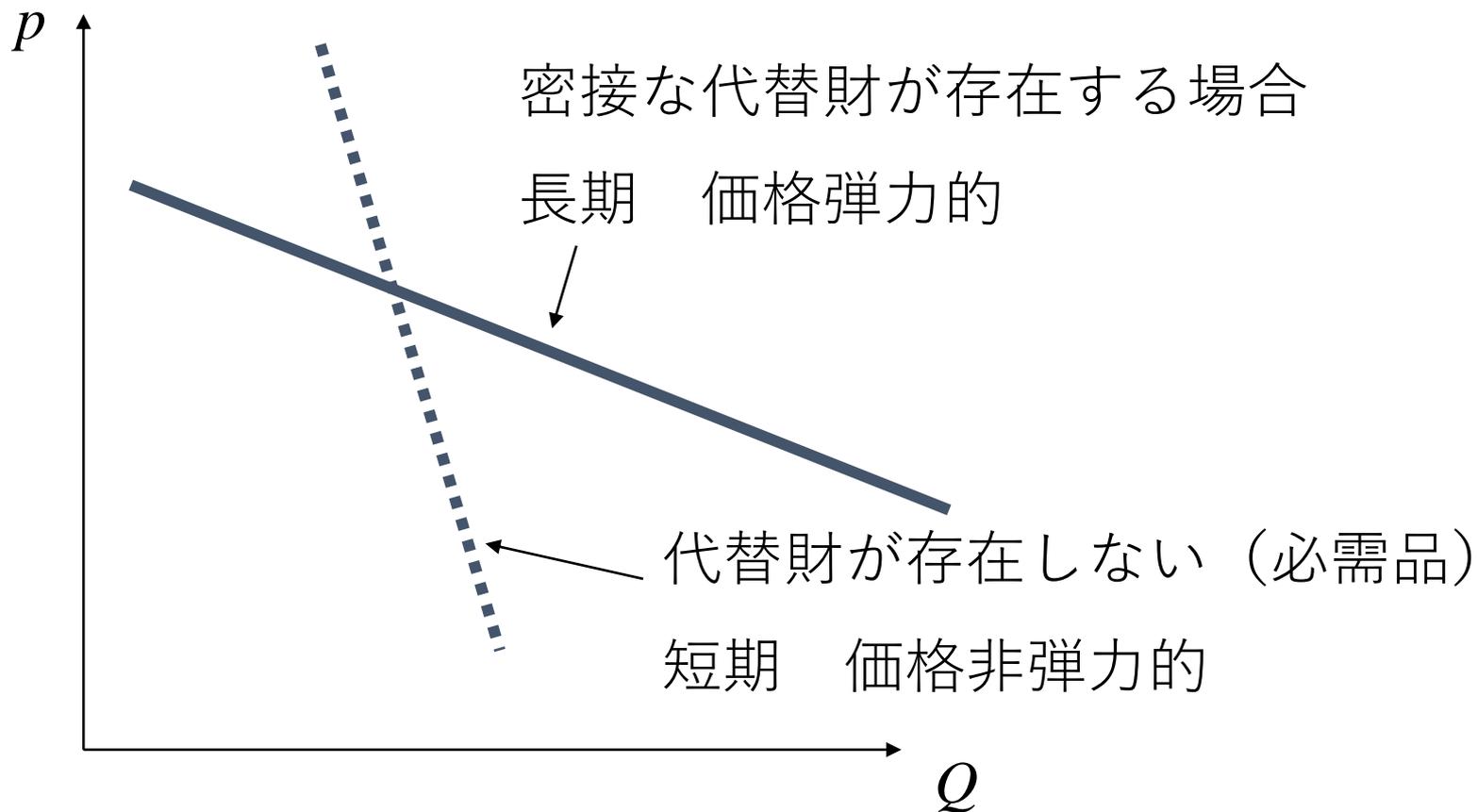
3. 市場の失敗

1. 公共財, 外部性, 自然独占, 情報上の失敗 (情報の非対称性)

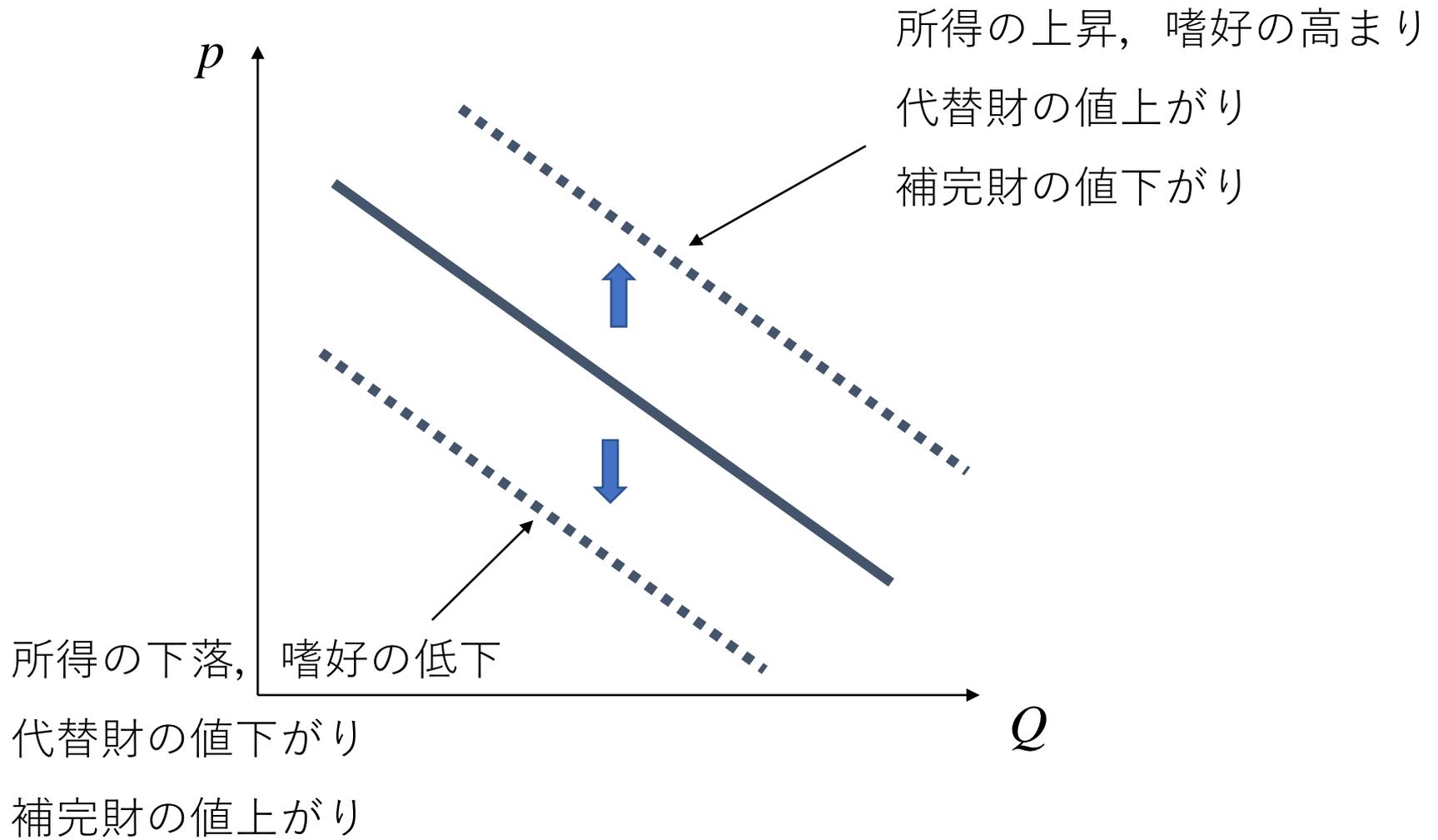
市場均衡の望ましさ（復習）

- 市場均衡は社会的余剰を最大化する
 - 社会的余剰を最大化するという意味で，効率的な資源配分を実現
 - $MB=p=MC$ が実現するから
 - 価格 緊急度の高い消費者，効率的な生産者を選別
 - 価格が消費者と生産者の意思決定を調整
 - 分配上の望ましさを意味するものではない
 - 限界便益の大きさは，選好の強さだけでなく，その人の所得の大きさも関係しているから
- 市場の失敗が存在する場合
 - 社会的余剰は最大にならない→政府の役割

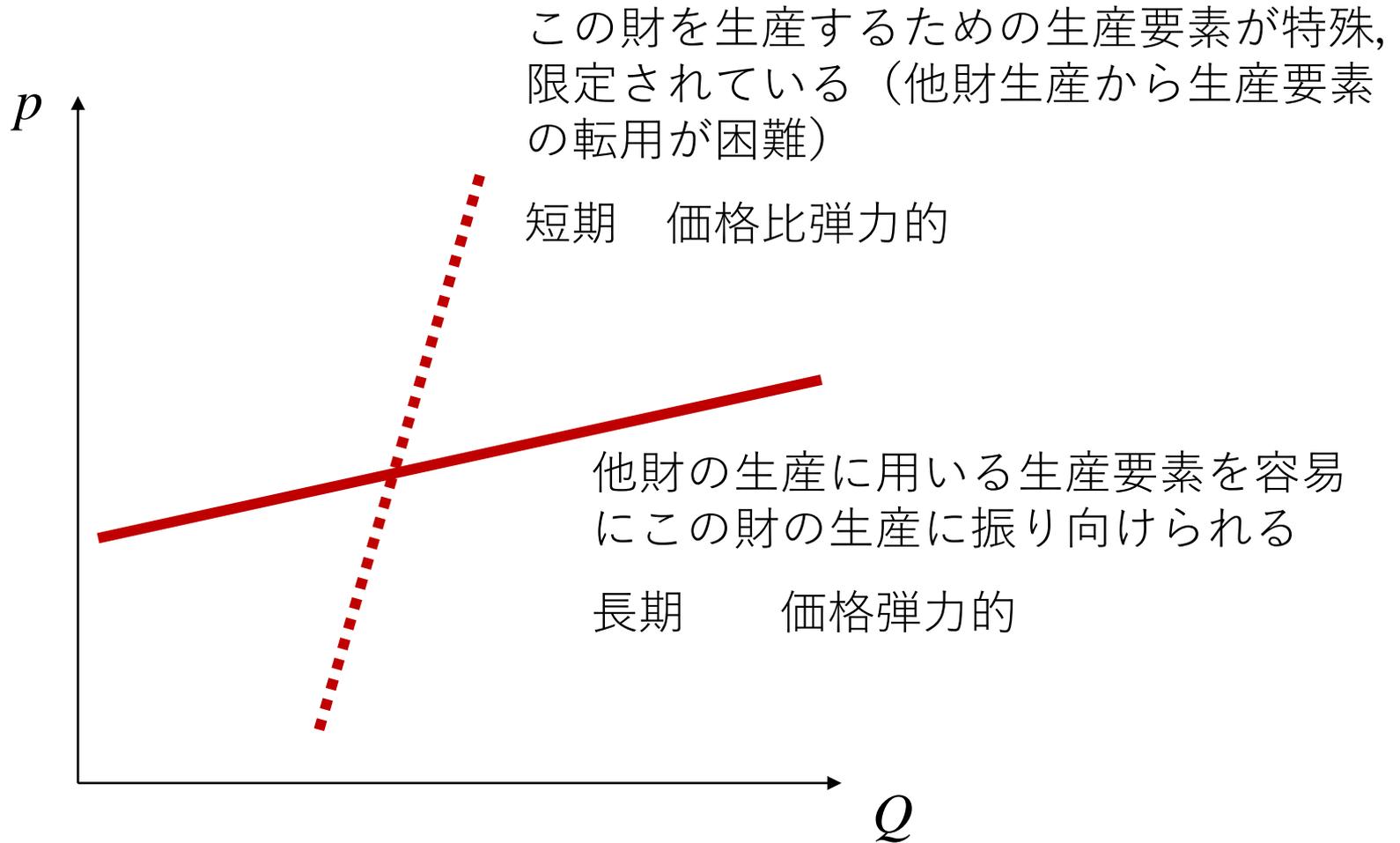
需要曲線の傾き



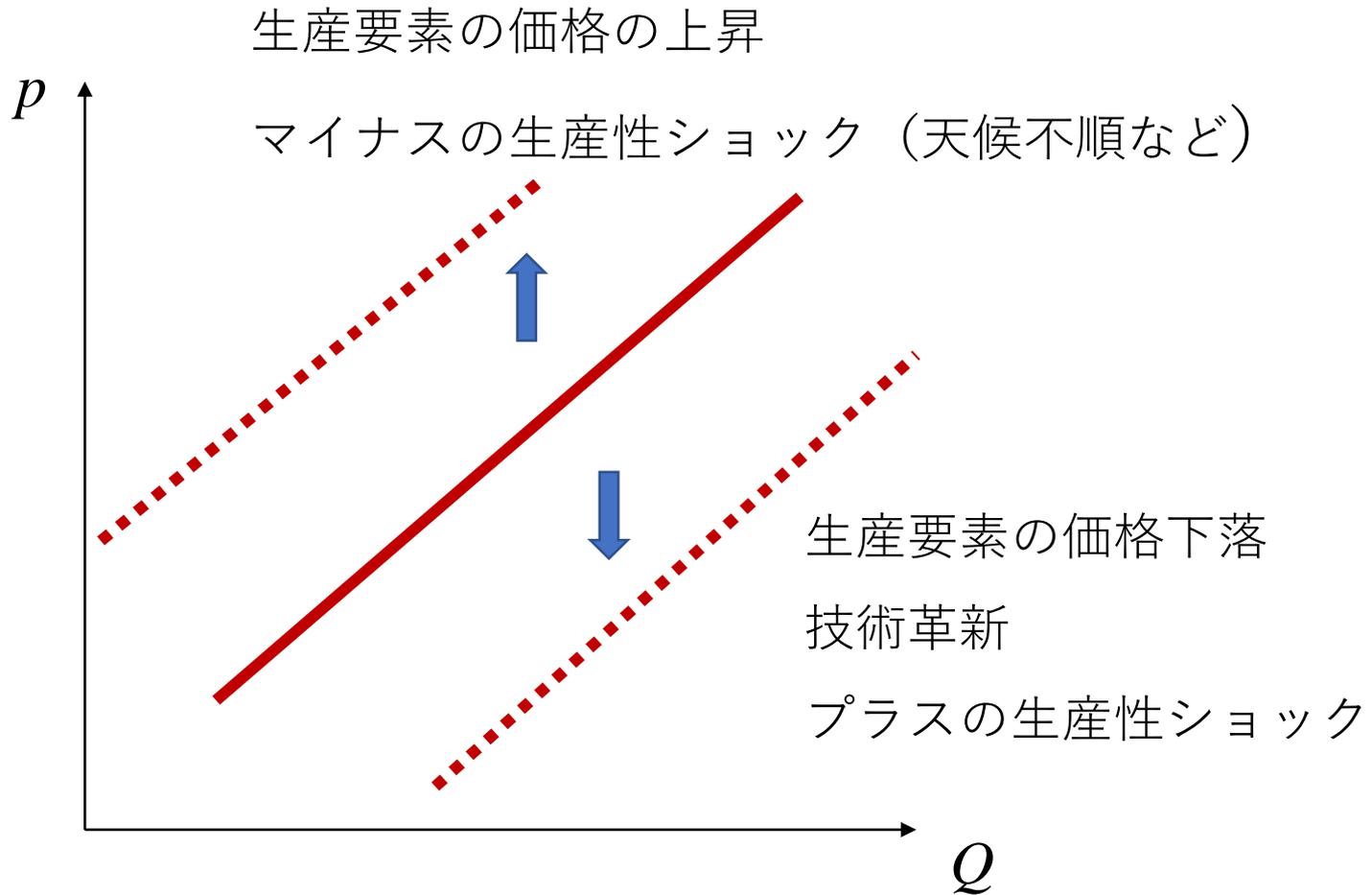
需要曲線のシフト



供給曲線の傾き



供給曲線のシフト

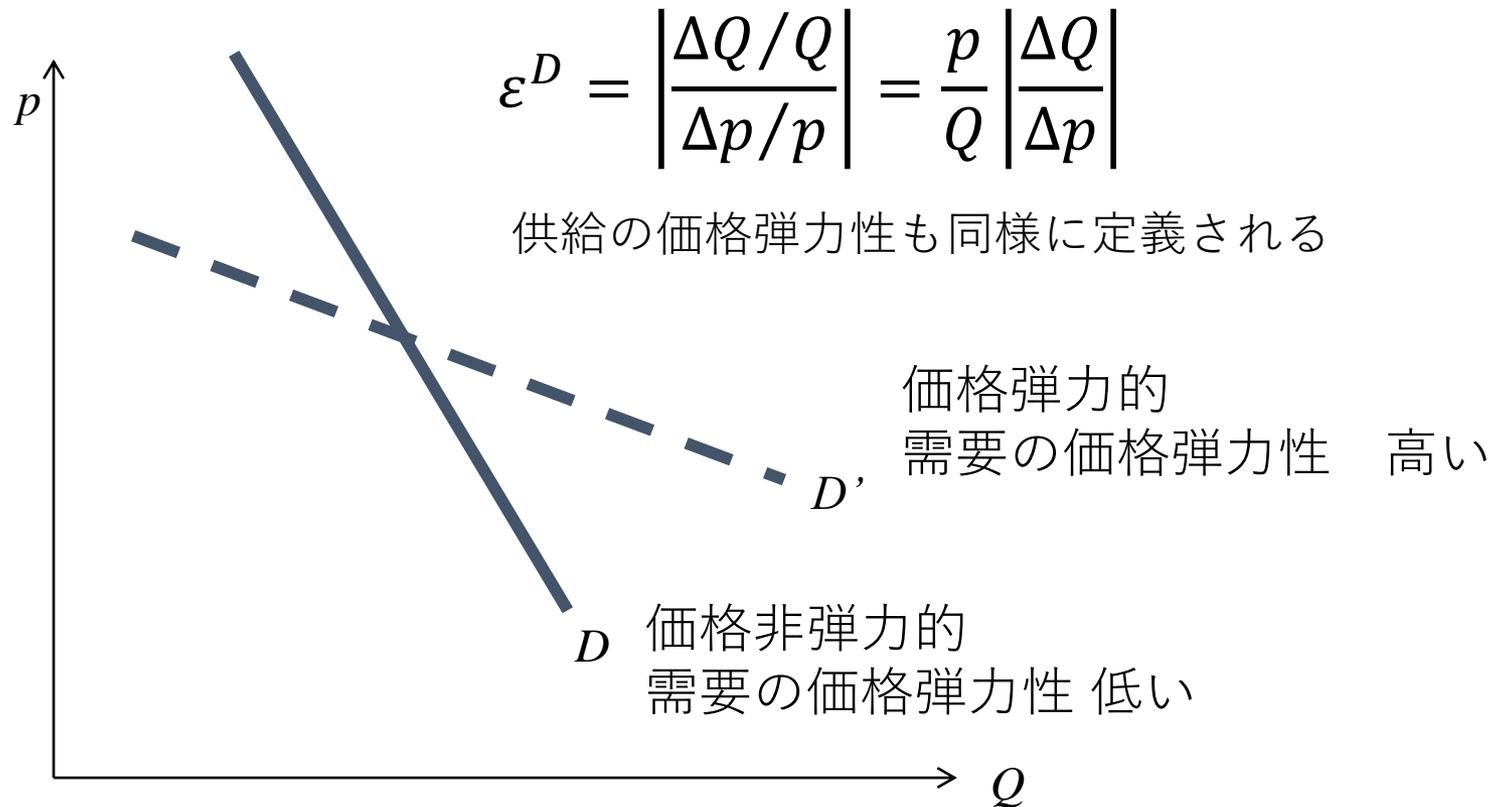


価格弾力性

- 需要曲線，供給曲線の「傾き」
 - 価格や数量の単位に依存する
 - 消費や生産を測る期間の長さにも依存する
 - 円，ドル，ユーロ，現在の1円と20年前の1円
 - kg, ポンド
 - 1週間の消費量（生産量），1年間の消費量（生産量）
- 価格の1%の変化が需要量（供給量）の何%の変化をもたらすか
 - 需要の価格弾力性，供給の価格弾力性
 - 価格・数量の単位や，数量を測る期間の長さとは独立の指標
 - 国際間，異時点間の比較が容易

需要の価格弾力性

price elasticity of demand



注意：ここでは価格弾力性を絶対値で定義。 $\Delta p > 0$ なら価格の上昇， $\Delta p < 0$ なら価格の下落として（ ΔQ も同様）。価格弾力性を定義する場合もある。その場合，需要の価格弾力性はマイナス，供給の価格弾力性はプラスの値になるのが通常。

需要量の変化の推計

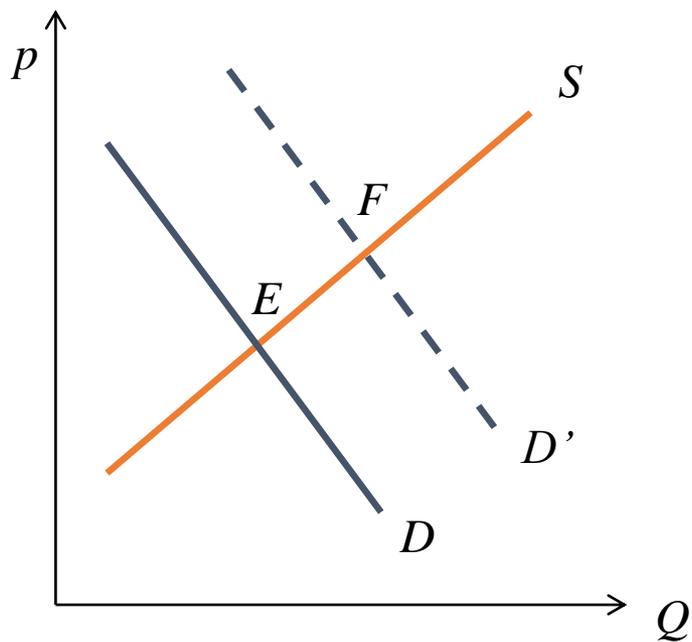
ε^D : 価格の1%の変化あたり, 需要量が何%変化するか →
価格変化の割合が $\Delta p/p$ であれば, 需要量の変化の割合は

$$\frac{\Delta Q}{Q} = \varepsilon^D \frac{\Delta p}{p}$$

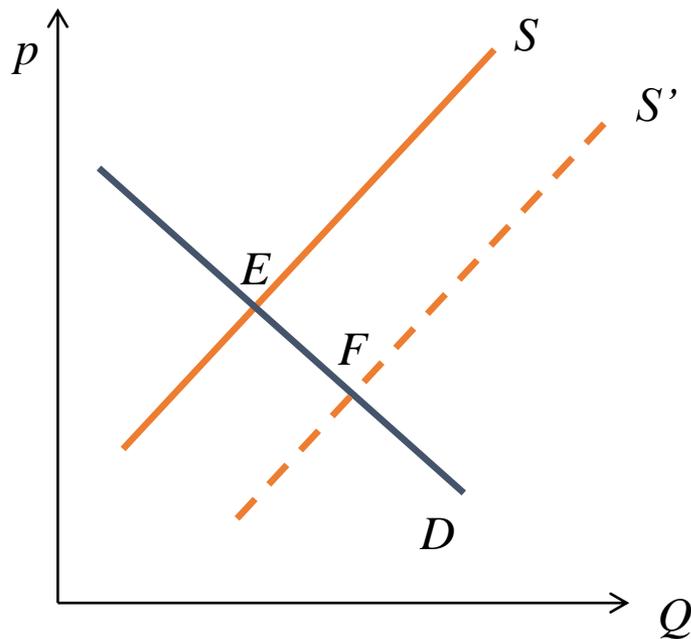
$\varepsilon^D=0.5$	価格の1%の低下は需要量の0.5%の増加
$\varepsilon^D=1.0$	価格の1%の低下は需要量の1.0%の増加
$\varepsilon^D=2.0$	価格の1%の低下は需要量の2.0%の増加

需要・供給曲線のシフトの効果

代替財の値上がり
補完財の値下がり
嗜好が高まる
所得の上昇



生産要素価格の下落
技術革新
プラスの生産性ショック

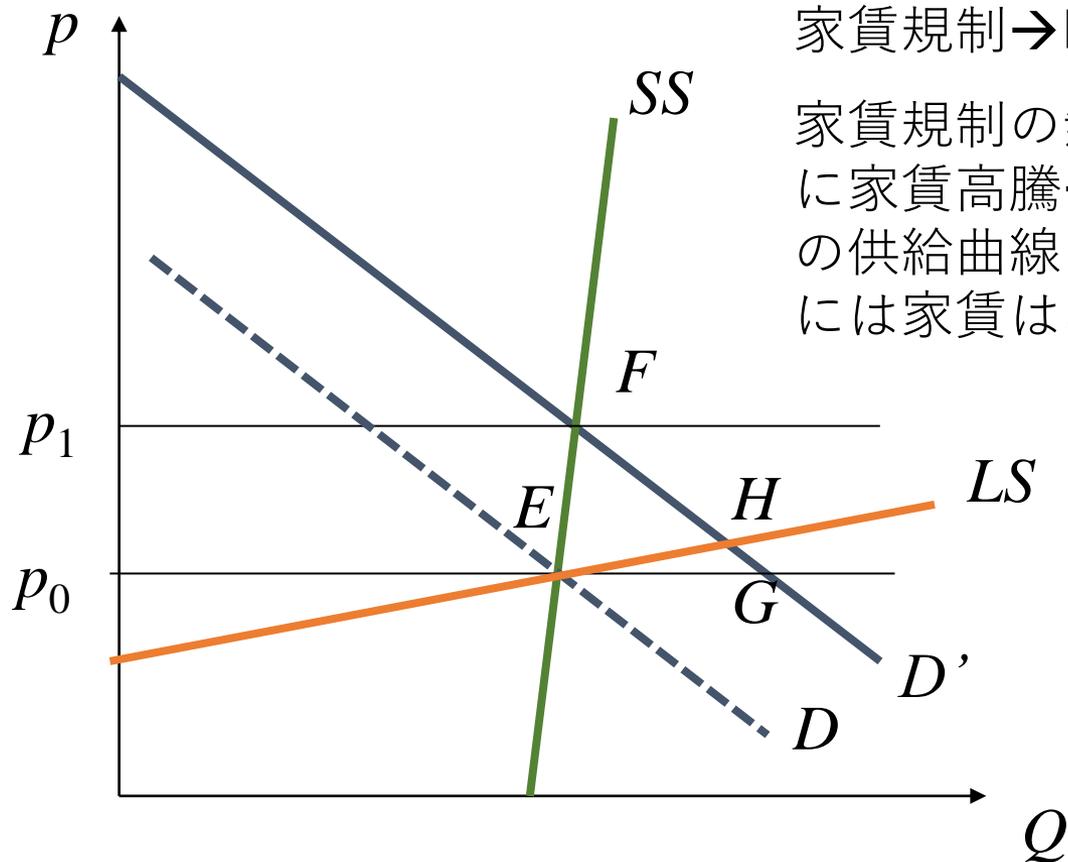


家賃の凍結（上限規制）

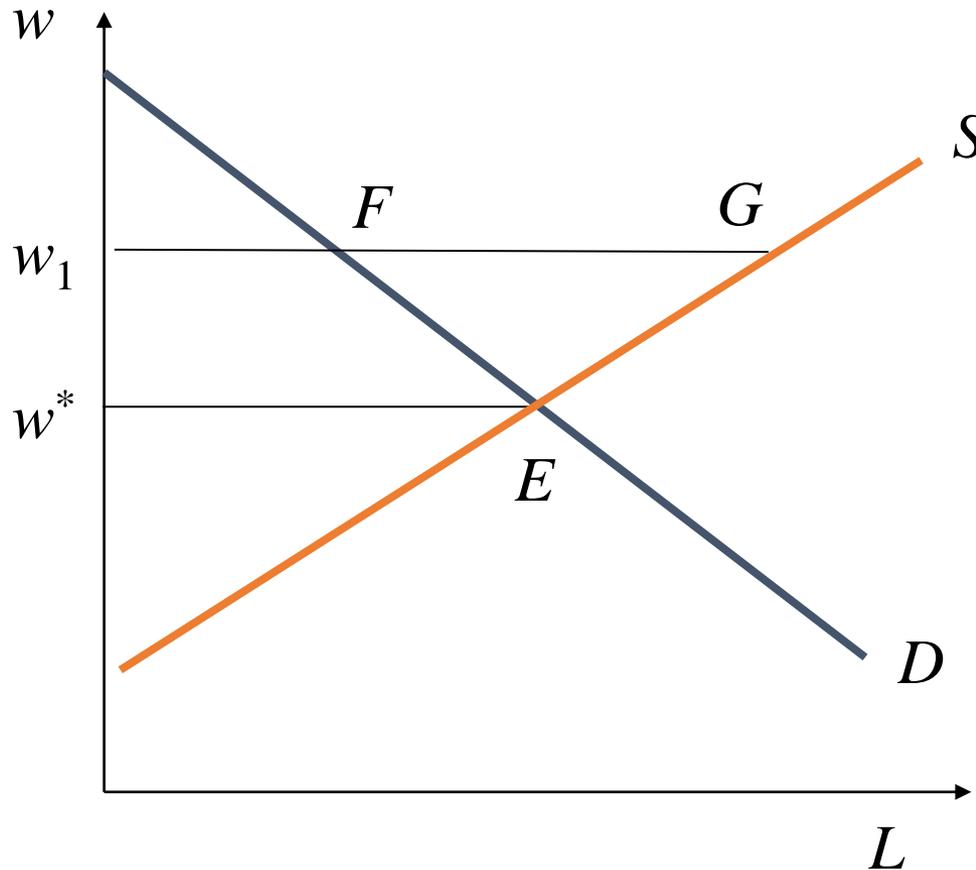
人口流入→住宅需要の増加

家賃規制→EGの超過需要

家賃規制の無い場合：短期的に家賃高騰→住宅建設→長期の供給曲線は弾力的→長期的には家賃はあまり上昇せず



最低賃金制度



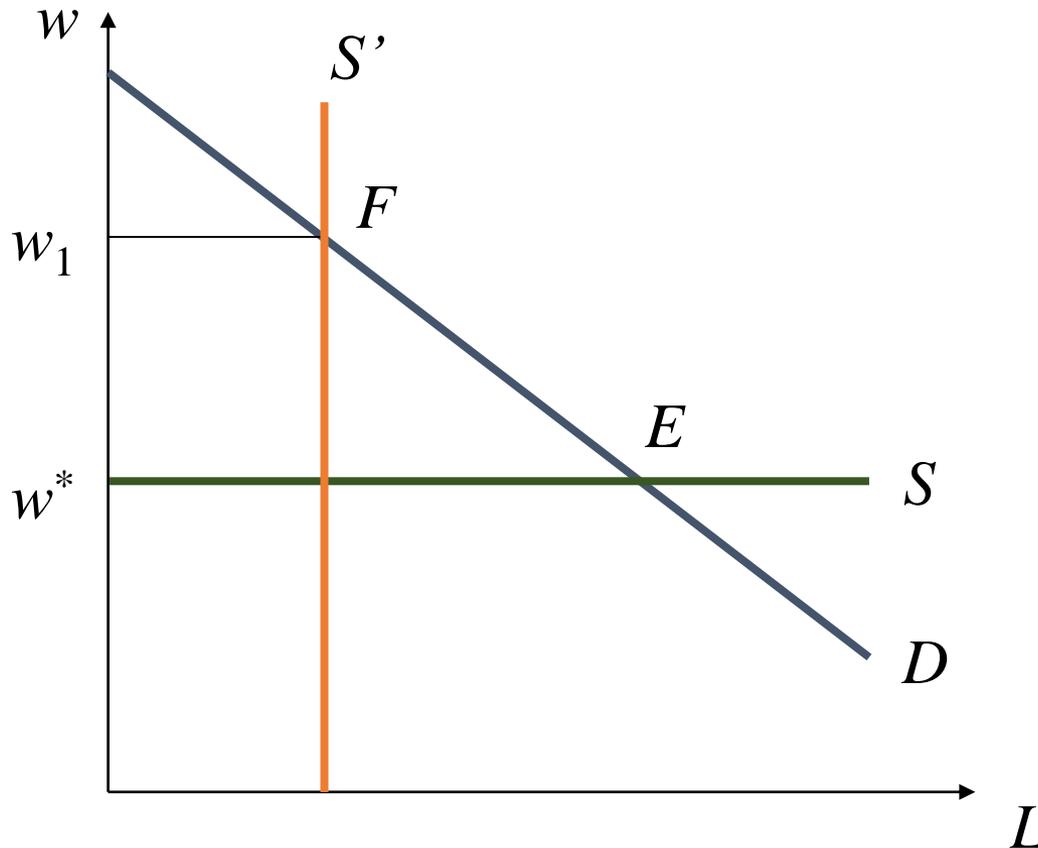
低賃金労働の市場

市場均衡賃金が w^* の場合に、それより高い最低賃金(w_1)を設定すると、 FG の失業の発生

最低賃金制度は雇用を減らす

労働市場が買手独占市場の場合は、最低賃金制度が雇用と賃金の増加をもたらす場合がある。

参入規制の効果



労働市場

S : 自由な参入が許された場合の労働供給曲線

S' : 参入規制のある場合の労働供給曲線

参入規制によって、この産業での賃金は高くなる

過小な生産、高い製品価格 → 消費者の犠牲

医師、弁護士

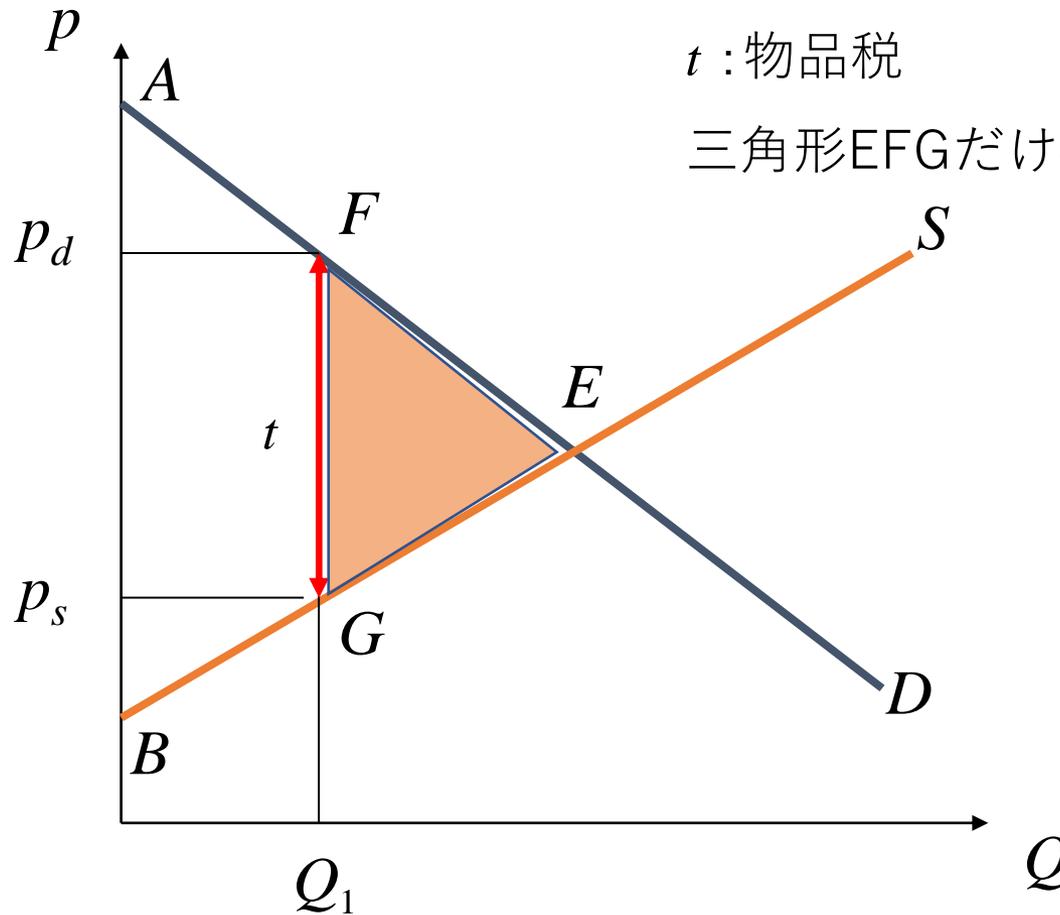
租税の効果

重要な関係 $p_d - t = p_s$

p_d : 消費者価格; p_s : 生産者価格;

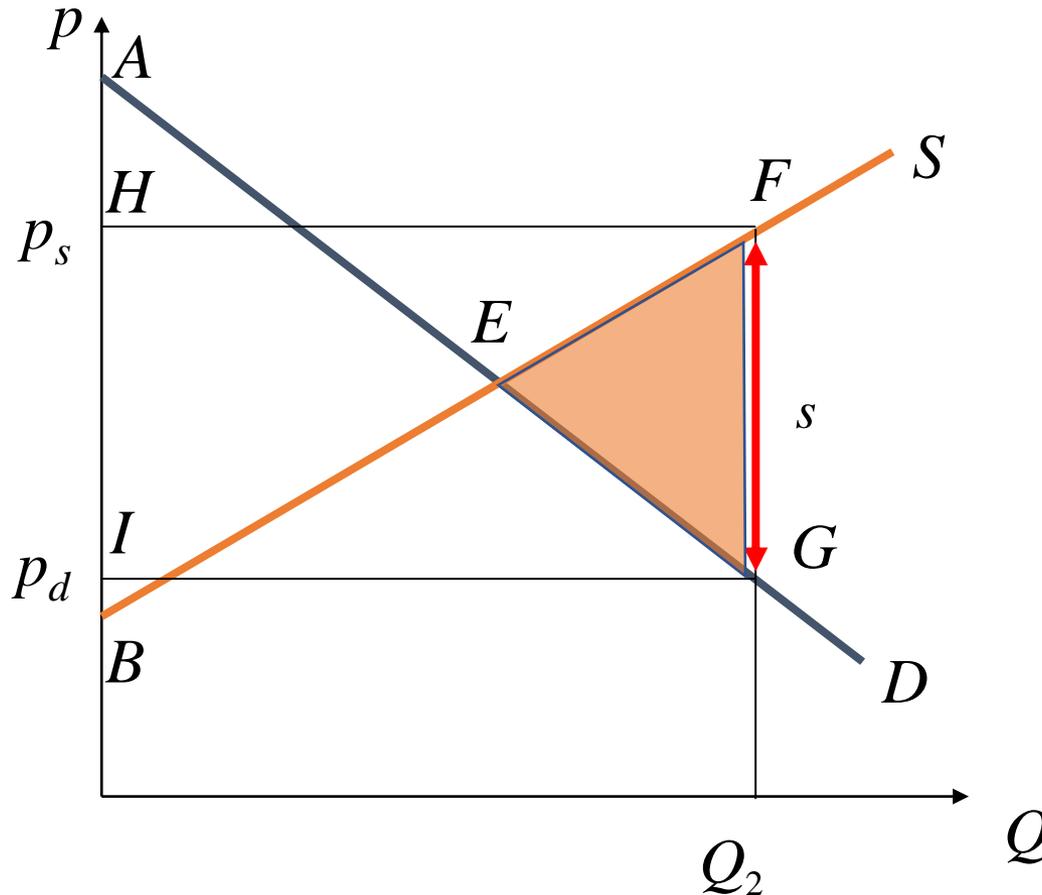
t : 物品税

三角形EFGだけ社会的余剰が減少



補助金の効果

補助金の導入: 三角形EFGだけ社会的余剰を減らす



$$p_s = p_d + s$$

p_s : 生産者価格; p_d : 消費者価格; s : 補助金

補助金導入後

消費者余剰: 三角形AGI

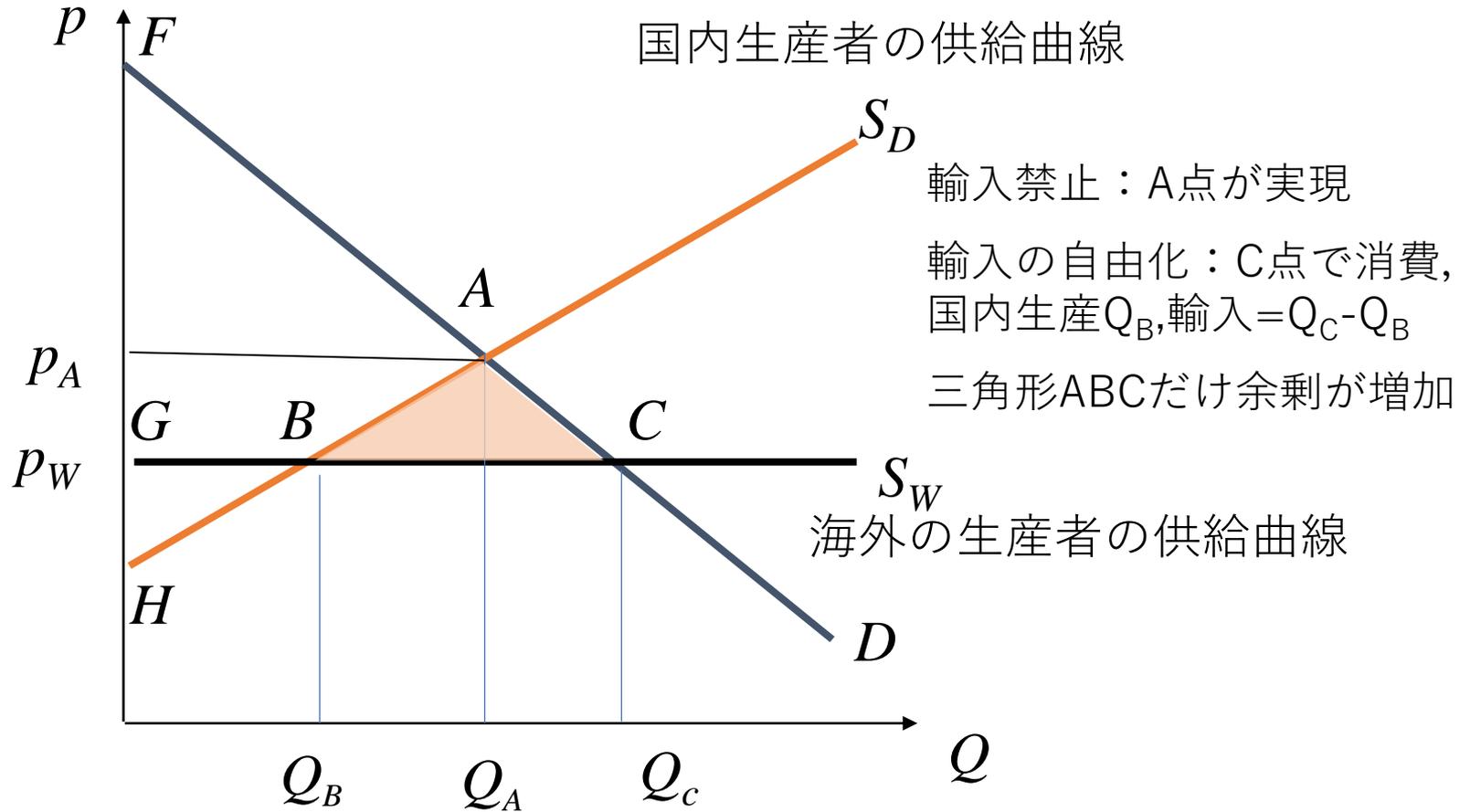
生産者余剰: 三角形HFB

補助金 → 税負担 四角形HFGI

社会的余剰 = 消費者余剰 + 生産者余剰 - 補助金 (税負担)

補助金の無い場合の社会的余剰 = 三角形AEB

輸入の自由化



市場の失敗

- 公共財
 - 価格メカニズムを用いた財の供給が不可能
- 外部性
 - 市場メカニズムの外に影響が漏れる
- 自然独占
- 情報上の失敗
 - 逆選択, モラルハザード
- 所得分配

公共財(public goods)

- 公共財(public goods)と私的財(private goods)

公共財の二つの性質

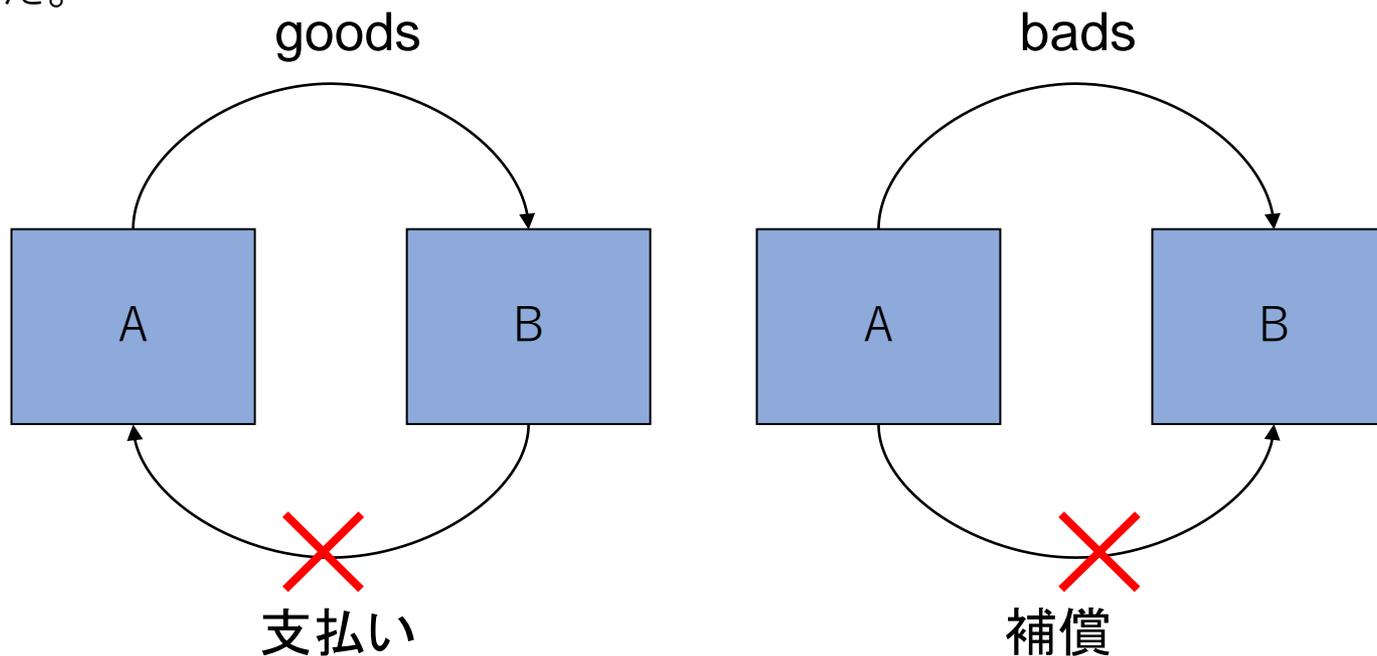
- 非競合性
 - ある人の消費が他の人の消費を減らさない
 - 集合消費, 等量消費とも呼ぶ
- 排除不能性
 - 費用を負担しない人が消費するのを排除できない
- 国防, 警察, 所有権の設定, 伝染病の予防など
- フリーライダー問題の発生: 市場を通じた供給が不可能

外部性(externality)

- 定義： ある経済主体の活動が、市場取引を通じないで（金銭的支払いを伴わないで）、他の経済主体に影響を与える場合、外部性が存在するという。
- 正の外部性(外部経済)
 - 養蜂業者と果樹園経営者
 - 知識，教育，借景
- 負の外部性（外部不経済）
 - 公害，騒音，大気汚染，路上駐車

外部性(2)

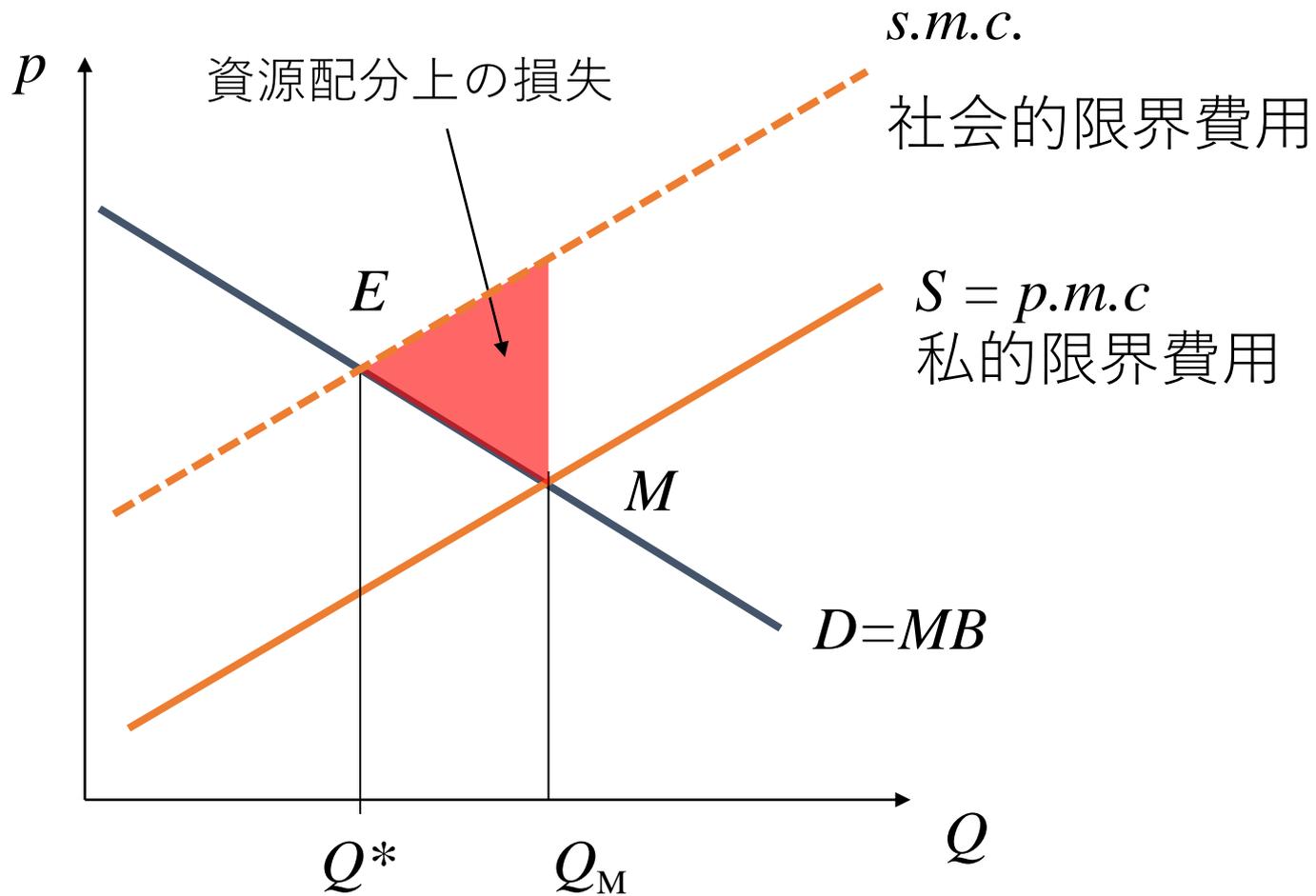
市場が問題をもたらすのではなく、むしろ市場が無いことが問題をもたらした。



相手に対してよい影響をもたらす活動を行うインセンティブが存在しない(それに対する報酬が存在しないため)

相手に対して悪い影響を与える活動を抑制するインセンティブが存在しない(補償支払いが存在しない=自分の費用にならない)

外部性(3)



自然独占

- 固定費用が巨額で，規模の拡大につれて平均費用が低下するような産業（費用逓減産業）
 - 電気，ガス，水道，高速道路，鉄道
- 最初に参入した企業が独占状態を維持
- 独占
 - 生産者は生産量を調整して価格を吊り上げることで利潤の最大化を実現できる
 - 限界便益=限界費用が実現しない
 - 人為的な希少性，価格が歪められる

